

水野ひろふみ後援会事業

●1月新年恒例会

今年は志賀・野見・森の3会場で行われ、たくさんの方にご参加いただきました。新年を皆さんで迎えることができたのも、裏方で頑張っていた女性部皆さんのお支えのおかげです。



●市政報告会

平成29年度がスタートする4月1日(土)に、八木てつや代議士と鈴木雅博県議と一緒に美里交流館で市政報告会を開催しました。新年度の予算や、地域課題を報告し、皆さんと地域課題を共有することができました。



●第4回マレットゴルフ大会

風薫る新緑の季節の中で、第4回マレットゴルフ大会が開催されました。支部長さんのご尽力もあり43組172名にご参加いただきました。皆さんと話ができたことや、会員さん同士が楽しくプレーをして、交流できていたことを嬉しく思いました。



水野ひろふみ後援会からのお知らせ

ふれあい集会のご案内

8月から「聴く」「話す」「行動する」の当初の気持ちを忘れずに各地区に伺います。たくさんの方のご参加とご意見を楽しみにしています。



日帰り親睦旅行のご案内

行事企画部が昨年に引き続き、秋に親睦旅行を計画しています。今年はどこに行くか楽しみにお待ちしております。



各支部長の皆様

後援会事業はいつも各支部長さんに支えられ活動しています。



豊田市議会議員

地域力発見! 水野ひろふみレター



《第7号》 発行：平成29年7月 水野ひろふみ後援会 発行人：柴田隆広

議員活動3年目の取組み

豊田市では、超高齢社会、産業構造や財政状況など、社会経済情勢の大きな転換期を迎えている中で、よりよいミライを目指すために、「第8次総合計画」をスタートしました。今年度では、いよいよ豊田市駅前通り北地区開発事業が完成し、魅力的な商業空間を整備すると共に、矢作緑地を活かしながら、豊田スタジアムまでのエリアを中心に、水と緑に包まれた憩いとくつろぎの空間を創出していきます。私も議員となり3年目を迎えるにあたり、選挙前から皆さんとお話をしている「健康寿命」の取組を地域に広げたいと考えています。誰もが元気で過ごしたいと思うことは当たり前ですが、その為に何をしていくのか？私は一人ひとりが「やりがい(目標)」を作ることの大切さを訴えていきます。そして豊田市では、誰もが住みやすい地域作りを念頭に置き、人と地域が優しさでつながり、多様な楽しみ方を共有できるように「笑顔あふれた地域づくり」を目指し議員活動に取り組みます。

豊田市議会議員 水野ひろふみ



平成29年度委員会配属

総務企画委員会



豊田スタジアムを生かしたまちづくり特別委員会



経営戦略部、企画政策部、総務部及び市民部の4部署を所管し今年度は、第8次総合計画を実施するため前期実践計画の施策・事業を着実に推進していきます。また、市民ニーズに応じた相談体制や事業・事務の効率化を進めます。

ラグビーワールドカップ2019の国内会場の一つである、豊田スタジアムを生かし、本市として大会成功、広域スポーツ振興、地域活性化に寄与し、国際都市としての更なる飛躍、発展等を目指し調査・研究を行います。



なんでも目安箱

家具センターミタチ入口に目安箱を設置しました。地域のご意見をお寄せ下さい。

市政のご意見・相談はこちらまで

みなさまのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください

TEL (0565) 89-7515

FAX (0565) 85-8295 ※FAX番号が新しくなりました。

【水野ひろふみ後援会事務局】〒471-0805 豊田市美里6丁目6-6 ミタチ家具内
e-mail: letter@mizuno-hirofumi.jp

6月定例議会の一般質問に立ちました

質問の趣旨 豊田市は、東海豪雨等の洪水災害を、幾度も経験をしてきました。そして矢作川中流域の豊田市都心部を脅かしている最大の課題である、竜宮橋下流の「鵜の首狭窄部」の課題について質問しました。

Q1 鵜の首狭窄部の改修計画の考え方と進捗状況について

A1 鵜の首狭窄部の改修計画では、河床と右岸側を大規模に開削し河道を拡幅することで、流下能力を高める計画となっています。この改修計画はまだ事業化されていませんが、基礎調査として現地測量とボーリング調査や生物調査などが行われました。
(答弁：建設部長)

Q3 越水時の災害対策本部設置基準及び運営体制について

A3 災害対策本部は、風水害の場合、第1非常配備体制から第4非常配備体制までがあり、第1非常配備体制設置基準は、大雨警報、洪水警報、暴風警報、暴風雪警報または大雪特別警報が発表された場合。また、第1非常配備体制の運営体制は、災害対策本部事務局5名以上、危機管理対策部から各1名以上、総務・情報対策部の各班から2名以上、建設対策部から4名以上、地区対策部の各班から2名以上、上下水道対策部から2名以上、各対策部連絡要員からそれぞれ1名以上が配備されます。
(答弁：地域振興部長)



提言 河川監視カメラを活用し、避難行動に素早く対応するためにも、ホームページ上で国の監視カメラの場所を設定し、国の監視カメラと同様に豊田市の監視カメラでも水かさの変化が標示出来るようにすることを提言しました。

Q2 鵜の首狭窄部の課題について

A2 改修計画を進めるにあたっての課題は3点あります。①約80万㎡もの膨大な発生土が想定され、この処分先を確保する必要があること。②岩盤は大変硬い花崗岩であることが判明し、岩盤掘削が時間や経費のかかる難易度の高い工事になること。③下流からの整備を基本としているため、下流が整備されるまで、鵜の首狭窄部の工事着手が出来ないこと、になります。
(答弁：建設部長)



Q4 市民への避難行動促進対策について

A4 自主防災会等における防災マップの作成支援を通じて、住民自らが地域の危険箇所や避難経路などを把握することで、地域防災力の向上を図っています。また、「緊急メールとよた」の登録促進や、河川監視カメラの設置等により、避難判断情報を早期に提供できるよう、情報伝達手段の多角化を進めており、新たな情報伝達手段として、防災ラジオの環境整備を行います。
(答弁：地域振興部長)



◆ 地域のがんばるマン ◆

皆さんもご存知の地域で活躍中の消防団、今回は第2方面隊の大会で第7分団が1・2フィニッシュと優秀な成績を収めました。豊田市全体の操法大会でも3位になり、地域の安心・安全を守るために、日々訓練を欠かしません。皆さんも消防団の応援をお願いします。



第7分団1・2部



第7分団3部

地域の皆さまと課題に取り組んでいます

消防署東分署本署化の取組

世帯数21,000世帯、人口54,000人を抱え、高齢化の進む高橋地区において、消防署の役割が重要となっています。平成28年度の統計によると、出動件数1,685件。これは和会町の南消防署と変わらない稼働状況です。消防職員の負担も増す一方です。本署化することで体制を強化し、地域住民の安心安全を確保しなければいけません。



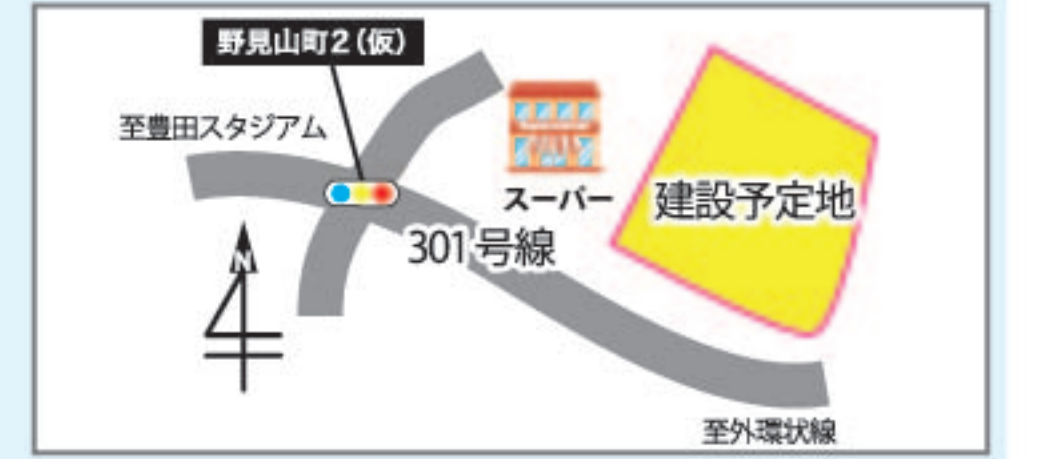
ゲンジボタルへの思い

益富地区では、この地区で生まれ育った子供たちに、ゲンジボタルの飛び交う夢とロマンのある里を「ふるさと」にして欲しいという思いから、30年以上も前に、ホテルの里研究会が発足し、益富地区コミュニティー会議とタッグを組み、活動を行ってきました。ホテルを卵から育て、幼虫を放流したり、川の環境保全にも積極的に取り組み、今ではこの地区でホテルが飛び交うようになってきました。今後は、自然発生する環境をしっかりと作り上げることです。



新しい病院ができます

「豊田東リハビリテーション病院」平成31年4月開業予定の新しい病院の名称です。開設者は医療法人馨仁会(けいじんかい)で、病床60床、診療科目は、リハビリテーション科・内科・外科・心臓血管外科です。ドラッグストアも併設されます。近くに病院が出来てより安心な地域になると思います。



地域要望活動

益富区長会代表者と市役所担当者と一緒に、愛知県豊田加茂建設事務所へ国道301号線の益富工区・早期4車線化の要望に伺いました。鈴木雅博県議に同行して、建設事務所に直接お会いし、要望活動を行いました。また、市役所では、磯谷副市長にお会いし、地域の声を直接伝えてきました。



地域の行事にお招きいただきありがとうございました。



志賀グランドゴルフ大会



野見 春の環境美化活動



古瀬間グリーンパークグランドゴルフ大会



御立 春の交通安全立哨



東山 渋谷ふれあいフェス



五ヶ丘3ふれあいサロン